

# 熊本保健科学大学動物実験細則

## (趣旨)

**第1条** この細則は熊本保健科学大学動物実験規則（平成20年2月1日制定。以下「規則」という。）第38条の規定に基づき、動物実験等の手続及び審査等に関して、必要な事項を定めるものとする。

## (動物実験の倫理基準)

**第2条** 規則第14条の動物実験計画書には、別紙に定める倫理基準(カテゴリーA～E)に対する自己判断を行い、その結果を記載するものとする。ただし、カテゴリーAの実験については、当分の間、規則第14条は適用しないものとする。

## (申請及び報告・届出等)

**第3条** 規則第14条第1項、第14条第2項、第15条第2項、第16条第1項、第18条第1項、第21条第1項及び第24条4項に規定する申請、報告及び届出等は、別表に定めるところによって行うものとする。

## (動物実験計画の立案)

**第4条** 規則第14条第1項に定める動物実験計画の立案については、次に掲げる基準によらなければならない。

- (1) 研究の目的、意義及び必要性を明確にすること。
- (2) 代替法を考慮して、実験動物を適切に利用すること。
- (3) 実験動物の使用数削減のため、動物実験等の目的に適した実験動物種の選定、動物実験成績の精度と再現性を左右する実験動物の数、遺伝学的及び微生物学的品質並びに飼養条件を考慮すること。
- (4) 苦痛の軽減により動物実験等を適切に行うこと。
- (5) 苦痛度の高い動物実験等、例えば、致死的な毒性試験、感染実験、放射線照射実験等を行う場合は、動物実験等を計画する段階で人道的エンドポイント(実験動物を激しい苦痛から解放するための実験を打ち切るタイミング)の設定を検討すること。
- (6) 遺伝子組換え動物に関する実験については、遺伝子組換え生物等使用安全委員会の審査を受けること。

## (動物実験計画の審査)

**第5条** 動物実験計画書の審査は、次に掲げる要領で行うものとする。

- (1) 動物実験計画に伴う関係書類の手続は、企画・人事課を通して行う。
- (2) 受理された動物実験計画書のうち、審査結果が容易に推定できるものについては、委員会において書面審査を行う。
- (3) 書面審査において、判断・調整が困難な動物実験計画については、委員会を開催し、動物実験計画の審査を行う。

## (動物実験計画の変更)

**第6条** 実験実施期間途中の計画変更については、別表に定める様式6により、審査を受けなければならない。

**(動物実験等の終了・中止)**

**第7条** 動物実験等を終了又は中止した場合は、別表に定める様式2-1を提出するものとする。

**(実験の有効期限)**

**第8条** 通知書により承認された動物実験の有効期限は、承認された日から2年以内とし、実験期間が2年を超える実験については、2年ごとに動物実験中間報告書(別表に定める様式2-2)及び動物実験計画変更申請書を提出しなければならない。

**(証明書の発行)**

**第9条** 学長は、第5条に規定する審査を受け、かつ、計画どおりに行われている動物実験については、動物実験責任者が要求する審査に関する証明書を発行することができる。

**(飼養保管施設の要件)**

**第10条** 規則第17条に定める飼養保管施設は、次に掲げる要件を満たすものとする。

- (1) 適切な温度、湿度、換気、明るさ等を保つことができる構造等とすること。
- (2) 動物種や飼養保管数等に応じた飼育設備を有すること。
- (3) 床や内壁などが清掃、消毒等が容易な構造で、器材の洗浄や消毒等を行う衛生設備を有すること。
- (4) 実験動物が逸走しない構造及び強度を有すること。
- (5) 臭気、騒音、廃棄物等による周辺環境への悪影響を防止する措置がとられていること。
- (6) 実験動物管理者が置かれていること。

**(実験室の要件)**

**第11条** 規則第19条に定める実験室の要件は、以下のとおりとする。

- (1) 実験動物が逸走しない構造及び強度を有し、実験動物が室内で逸走しても捕獲しやすい環境が維持されていること。
- (2) 排泄物や血液等による汚染に対して清掃や消毒が容易な構造であること。
- (3) 常に清潔な状態を保ち、臭気、騒音、廃棄物等による周辺環境への悪影響を防止する措置がとられていること。

**(改廃)**

**第12条** この細則の改廃は、学術研究会議の議を経て、学長が行う。

**附 則**

1. この細則は、平成20年2月1日から施行する。
2. この細則は、平成21年4月1日から改正施行する。
3. この細則は、平成24年7月1日から改正施行する。
4. この細則は、平成24年12月1日から改正施行する。
5. この細則は、平成25年6月13日から改正施行する。

6. この細則は、平成 26 年 4 月 1 日から改正施行する。
7. この細則は、平成 26 年 7 月 22 日から改正施行する。
8. この細則は、平成 27 年 7 月 24 日から改正施行する。
9. この細則は、平成 27 年 11 月 1 日から改正施行する。
10. この細則は、平成 28 年 4 月 1 日から改正施行する。
11. この細則は、平成 28 年 10 月 1 日から改正施行する。
12. この細則は、令和 2 年 4 月 1 日から改正施行する。
13. この細則は、令和 3 年 4 月 1 日から改正施行する。

別表（第3条、第6条、第7条関係）

事 項	様 式 等
規則第14条第1項関係	様式1-1 熊本保健科学動物実験計画書
規則第14条第2項関係	様式1-2 動物実験審査結果通知書
規則第15条第2項関係、 細則第7条関係	様式2-1 動物実験結果（終了・中止）報告書
細則第8条関係	様式2-2 動物実験中間報告書
規則第16条関係	様式3 飼養保管施設設置承認申請書
規則第18条関係	様式4 実験室設置承認申請書
規則第21条関係	様式5 施設等（飼養保管施設・実験室）廃止届
細則第6条関係	様式6 動物実験計画変更申請書
規則第24条4項関係	様式8 動物搬入・飼養保管施設使用申込書

熊本保健科学大学動物実験計画書

学長 殿

新規  変更(動 )

提出年月日 20 年 月 日 受付年月日 20 年 月 日 受付番号

研究課題	
------	--

研究目的	
------	--

動物実験責任者 (選択項目を■)	フリガナ	部局名	職 (学年)	本学における教育訓練受講
	氏名 (印) email @	連絡先TEL:		
動物実験実施者 (所属内フリガナ、 選択項目を■)	( ) @	連絡先TEL:	( 年)	<input type="checkbox"/> 有:20( )年度 <input type="checkbox"/> 無
	( ) @	連絡先TEL:	( 年)	<input type="checkbox"/> 有:20( )年度 <input type="checkbox"/> 無
	( ) @	連絡先TEL:	( 年)	<input type="checkbox"/> 有:20( )年度 <input type="checkbox"/> 無
	( ) @	連絡先TEL:	( 年)	<input type="checkbox"/> 有:20( )年度 <input type="checkbox"/> 無
	( ) @	連絡先TEL:	( 年)	<input type="checkbox"/> 有:20( )年度 <input type="checkbox"/> 無
	( ) @	連絡先TEL:	( 年)	<input type="checkbox"/> 有:20( )年度 <input type="checkbox"/> 無

実験実施期間	承認後 ~ 20( )年 月	中止・終了等	20( )年 月 日
--------	----------------	--------	------------

飼養保管施設 及び 実験室	飼養保管施設 <input type="checkbox"/> 動物実験施設 <input type="checkbox"/> 2505 研究室(動物飼養保管室) <input type="checkbox"/> 飼養保管しない	実験室	
------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----	--

使用動物	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的品質	入手先(導入機関名)	備考

<p>使用動物頭数の算出根拠</p>	<p>(どのような作業に、何故これだけ必要なのか、根拠を分かりやすく明示しながら記入する。)</p>
--------------------	----------------------------------------------------

<p>研究計画と方法</p>	<p>研究概要（研究計画と方法について、その概要を記入する。）</p>
	<p>実験方法（動物に加える処置を具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせる。）</p>
<p>実験動物の管理方法</p>	<p>動物の愛護及び管理に関する法律その他関係法令、本学動物実験規則等の学内規則を遵守し、動物実験を行います。また、動物実験実施者にも同様に遵守させます。以下に具体的な実験動物の管理方法を記載いたします。</p> <p style="text-align: right;">動物実験責任者(署名) _____</p> <p>(1週間に何回、誰が、どのような世話(給水・給餌など)をするか具体的に記入する。)</p>

<p>特殊実験区分 (該当項目をすべて■)</p>	<p><input type="checkbox"/> 1. 遺伝子組換え動物使用実験 拡散防止措置区分: P1A</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 発癌実験</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 重金属使用実験</p>
-------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



20 年 月 日

(動物実験責任者)

学科

殿

熊本保健科学大学  
学長

## 動物実験審査結果通知書

先に提出された下記の動物実験計画について、熊本保健科学大学動物実験規則に基づき、動物実験委員会で審議した結果は下記のとおりです。

### 記

- 1 研究課題：  
「 」
- 2 動物実験責任者名：
- 3 受付番号：
- 3 登録・受付番号：
- 4 審査の結果：
  - 計画書のとおり実験の実施を許可します。  
有効期限は です。
  - 以下のとおり通知します。  
別紙記載のコメントに対応の上、再提出下さい。

以上



受付日	20 年 月 日
受付番号	報

様式 2-1

## 動物実験結果（終了・中止）報告書

20 年 月 日

学長 殿

動物実験責任者  
所属  
氏名  
連絡先

印

熊本保健科学大学動物実験規則第 15 条第 2 項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

1. 登録番号	動
2. 研究課題	
3. 実験終了（中止）年月日	20 年 月 日
4. 実験の結果 (該当項目にマークし、その概要を簡潔に記述)	<input type="checkbox"/> 計画どおり実施 <input type="checkbox"/> 中止
	結果の概要
5. 成果（予定を含む） (得られた業績、例：雑誌論文、図書、工業所有権などについて、著者名、論文標題、雑誌名、巻・号、発行年、頁、出版社などを記載、必要に応じて別紙に記載)	<論文・雑誌等>  <学会発表>  <その他>
6. 実験動物の 最終処分年月日	
7. 発注した動物、合計匹数	
8. 使用した動物、合計匹数	
9. 特記事項	

受付日	20 年 月 日
受付番号	報

様式 2-2

## 動物実験中間報告書

20 年 月 日

学長 殿

動物実験責任者

所属

氏名

連絡先

印

熊本保健科学大学動物実験細則第8条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

1. 登録番号	動
2. 研究課題	
3. 実験終了予定年月日 (未定の場合は、理由を記入)	20 年 月 日
4. 実験の進捗状況 (該当項目にマークし、その概要を簡潔に記述)	<input type="checkbox"/> 予定通り <input type="checkbox"/> 遅れている
	進捗状況概要
5. 成果 (予定を含む) (得られた業績、例：雑誌論文、図書、工業所有権などについて、著者名、論文標題、雑誌名、巻・号、発行年、頁、出版社などを記載、必要に応じて別紙に記載)	<論文・雑誌等>  <学会発表>  <その他>
6. 中間報告書提出日までに 発注した動物、匹数	
7. 中間報告書提出日までに 使用した動物、匹数	
8. 特記事項	

## 飼養保管施設設置承認申請書

学長 殿

所属

所属長氏名

(印)

熊本保健科学大学動物実験規則第16条の規定に基づき、下記の飼養保管施設設置の承認について申請します。

申請年月日 20 年 月 日 受付年月日 20 年 月 日

1. 飼養保管施設(施設)の名称	
2. 施設の管理体制	<p>&lt;管理者&gt; 所属 職名 氏名 連絡先</p> <p>&lt;実験動物管理者&gt; 所属 職名 氏名 連絡先 関連資格： 経験年数：</p> <p>&lt;飼養者&gt; (人数が多い場合、別資料として添付) 所属 職名 氏名 連絡先 関連資格： 経験年数：</p>
3. 施設の概要	<p>1) 建物の構造 構造：(例：鉄筋コンクリート造) 施設面積：</p> <p>2) 空調設備： (例：温湿度制御、換気回数等)</p> <p>3) 飼養保管する実験動物種：</p> <p>4) 飼養保管設備(飼育ケージ等) 規格： 最大収容数：</p> <p>5) 逸走防止策(ケージの施錠、前室の有無、窓や排水口の封鎖など)</p> <p>6) 衛生設備(洗浄・消毒・滅菌等の設備) 名称： 規格：</p>

	7) 臭気、騒音、廃棄物等による周辺への悪影響防止策
4. 特記事項 (例: 化学的危険物質や病原体等を扱う場合等の設備構造の有無等)	
5. 委員会記入欄	<p>調査月日: 20 年 月 日</p> <p>調査結果: <input type="checkbox"/> 申請された飼養保管施設は規程に適合する。 (条件等 <input type="checkbox"/> 改善後、使用開始すること。)</p> <p><input type="checkbox"/> 申請された飼養保管施設は規程に適合しない。</p> <p>意見等</p> <p style="text-align: right;">委員長 (印)</p>
6. 学長承認欄	<p>承認: 20 年 月 日</p> <p>本申請を承認します。</p> <p>承認番号: 第 号</p> <p style="text-align: right;">熊本保健科学大学長 (印)</p>

添付資料

- 1) 施設の位置を示す地図 (該当部分をマーカーで囲むこと)
- 2) 施設の平面図 (該当部分をマーカーで囲むこと)

# 実験室設置承認申請書

学長 殿

所属

所属長氏名

(印)

熊本保健科学大学動物実験規則第18条の規定に基づき、下記の実験室設置の承認について申請します。

申請年月日 20 年 月 日 受付年月日 20 年 月 日 受付番号

1. 実験室の名称	
2. 実験室の管理体制	<p>&lt;実験室管理者&gt; (例: 教室主任者等)</p> <p>所属 職名 氏名</p> <p>連絡先</p>
3. 実験室の概要	<p>1) 実験室の面積: (          m<sup>2</sup>)</p> <p>2) 実験に使用する実験動物種:</p> <p>3) 実験設備 (特殊装置の有無等)</p> <p>4) 逸走防止策 (前室の有無、窓や排水口の封鎖など)</p> <p>5) 臭気、騒音、廃棄物等による周辺への悪影響防止策</p>
4. 特記事項 (例: 化学的危険物質や病原体等を扱う場合等の設備構造の有無等)	
5. 委員会記入欄	<p>調査月日: 20 年 月 日</p> <p>調査結果: <input type="checkbox"/> 申請された実験室は規則に適合する。 (条件等 <input type="checkbox"/> 改善後、使用開始すること。)</p> <p><input type="checkbox"/> 申請された実験室は規則に適合しない。</p> <p>意見等</p> <p style="text-align: right;">委員長 (印)</p>
6. 学長承認欄	<p>承認: 20 年 月 日</p> <p>本申請を承認します。</p> <p>承認番号: 第          号</p> <p style="text-align: right;">熊本保健科学大学長 (印)</p>

添付資料

- 1) 実験室の位置を示す地図 (該当部分をマーカーで囲むこと)
- 2) 実験室の平面図 (該当部分をマーカーで囲むこと)

20 年 月 日

学長 殿

所属  
所属長氏名

(印)

## 施設等（飼養保管施設・実験室）廃止届

熊本保健科学大学動物実験規則第21条の規定に基づき、下記のとおり届出いたします。

1. 廃止する飼養保管施設 (施設) または実験室の 名称	
	設置承認番号 ( )
2. 管理者	所属 氏名 職名 連絡先
3. 廃止年月日	20 年 月 日
4. 廃止後の利用予定	
5. 廃止時に残存した飼養 保管動物の措置 (施設の場合のみ記載)	残存飼養保管動物の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合の措置
6. 特記事項	
7. 委員会記入欄	委員長 (印)
8. 学長記入欄	

20 年 月 日

学長 殿

## 動物実験計画変更申請書

動物実験責任者

所属：

職名：

氏名：

印

登録番号 動 \_\_\_\_\_ の動物実験計画を下記のとおり、変更したいので承認願います。

記

### 1. 変更事項\*

(\* 変更内容を反映させた「計画書」を新たに提出すること。)

1) 動物実験実施者（共同研究者）の変更

2) 実験動物の使用数等の変更

3) 実験実施期間の変更

4) その他

### 2. 変更の理由

## 動物搬入・飼養保管施設使用 申込書

※ 搬入予定日の1週間以上前に執行伺（発注）と一緒に提出して下さい。  
太枠内は実験責任者が必ず埋めて下さい。

熊本保健科学大学動物実験委員会

動物実験責任者			学内連絡先	内線： 外線：
動物実験実施者				
希望連絡先	<input type="checkbox"/> 動物実験責任者 <input type="checkbox"/> 動物実験実施者 (氏名： _____ 電話番号： _____ )			
研究課題	登録番号	動 <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/>		
搬入希望日	20 ____ 年 ____ 月 ____ 日	飼養保管 施設	<input type="checkbox"/> 動物実験施設	
飼育予定期間	動物搬入後 ~ 20 ____ 年 ____ 月 ____ 日		<input type="checkbox"/> 2505-5研究室(動物飼養保管室) <input type="checkbox"/> 飼養保管しない	
動物種			性別	<input type="checkbox"/> オス <input type="checkbox"/> メス <input type="checkbox"/> 不問
系統名			体重 (週齢)	
数		必要ケージ数	生産環境	<input type="checkbox"/> SPF <input type="checkbox"/> クリーン
発注先	業者名			<input type="checkbox"/> コンベンショナル <input type="checkbox"/> 家畜
	連絡先 (TEL)			<input type="checkbox"/> その他 ( _____ )
費用区分	<input type="checkbox"/> 学科(教育用) <input type="checkbox"/> 研鑽費(個人研究費) <input type="checkbox"/> 学内研究費(登録番号 _____ )			
	<input type="checkbox"/> 科研費 <input type="checkbox"/> 奨学寄附金 <input type="checkbox"/> 産学連携等 <input type="checkbox"/> その他 ( _____ )			
執行伺書番号：	備考：			
発注 -				
搬入先：				

## 動物実験委員会記入欄

受付番号		受付日	20 ____ 年 ____ 月 ____ 日	受付担当者	
飼養保管 施設		発注日	20 ____ 年 ____ 月 ____ 日	納入予定日	20 ____ 年 ____ 月 ____ 日
計画書 チェック	<input type="checkbox"/> 動物種 <input type="checkbox"/> 数量	連絡	<input type="checkbox"/> ____ 月 ____ 日 (メール/電話/ 実験責任者/実験実施者( _____ ) _____ )	実験有効期限	20 ____ 年 ____ 月 ____ 日
備考			飼養保管施設確認 月 日 電話/メール 実験動物管理者/サブ		動物実験 委員長印



## 動物実験における実験処置に対する倫理基準

**カテゴリーA：生きた動物を用いない実験あるいは植物，細菌，原虫，または無脊椎動物を用いた実験**

ただし、目的外使用の許諾を示す書類が添付されたもの

- 剖検により得られた組織を用いること
- 屠場から得た組織を用いること

**カテゴリーB：動物に対してほとんど不快感を与えないと思われる実験**

- 動物を手で保定すること
- あまり有害でない物質の投与あるいは少量採血などの簡単な処置
- 深麻酔により意識のない動物を用いた実験
- 短時間（2～3時間）飼料や水を与えないこと
- 適切な安楽死により動物を殺処分すること

**カテゴリーC：動物に対して軽微なストレスあるいは短時間持続する痛みを伴う実験**

- 麻酔状態で血管を露出させたり，カテーテルを長時間挿入したりすること
- 行動学的な実験において，意識のある動物に対して短時間ストレスを伴う保定を行うこと
- フロイントのアジュバントを用いた免疫
- 苦痛を伴う刺激を与える実験で，動物がその刺激から逃れられる場合
- 麻酔状態における外科的処置で，処置後に軽度の不快感を伴うもの  
(カテゴリーCに該当する処置は，ストレスや痛みの程度，持続時間によってさまざまな配慮が必要となる。)

**カテゴリーD：避けることのできない重度のストレスや痛みを伴う実験**

- 行動学的実験において故意にストレスを加えること
- 麻酔状態における外科的処置で，処置後に著しい不快感を伴うもの
- 苦痛を伴う解剖学的あるいは生理学的処置
- 苦痛を伴う刺激を与える実験で，動物がその刺激から逃れられない場合
- 長時間（数時間以上）にわたって動物の体を保定すること
- 離乳前の子どもを母親から隔離すること
- 攻撃的な行動をとらせ，自分自身，あるいは同種他個体を損傷させること
- 麻酔薬を使用しないで痛みを与えること（毒性試験において動物を死に至らしめる場合，動物が耐えることができる最大に近い痛みを与えること）（動物が激しい苦悶の表情を示す場合，例えば，放射線障害をひきおこすこと，ある種の注射，ストレスやショックの研究など）

(カテゴリーDに属する実験を行う場合，研究者は，動物に対する苦痛を最小限にするため，あるいは苦痛を排除するために，実験計画の変更を考察する責任がある。)

**カテゴリーE：麻酔していない意識のある動物を用いて、動物が耐えることのできる最大に近い痛み、あるいはそれ以上の痛みを与えるような処置**

- 手術する際の保定のため、麻酔薬を使わずに、筋弛緩薬あるいは麻痺性薬剤（サクシニルコリンあるいはその他のクラーレ様作用を持つ薬剤）を使うこと
- 麻酔していない動物に重度の火傷や外傷をひきおこすこと
- 精神病のような行動をおこさせること。
- 家庭用電子レンジあるいはストリキニーネを用いて殺すこと
- 避けることのできない重度のストレスを与えること
- ストレスを与えて殺すこと

（カテゴリーEに属する実験は、それによって得られる結果が必要なものであっても決して行ってはならない。）